

小麦の銅・マンガン欠乏対策に！

効果発現促進材(銅・亜鉛)入り

マンキチ粒状T-21号



▲小麦の銅欠乏
(中央部が銅欠乏により枯れ上がりが遅く、不稔が多い)

▲銅欠乏小麦の穂部(不稔)

成分

保証成分(%)	効果発現促進材(%)	
く溶性マンガン	銅	亜鉛
C-MnO	Cuとして	Znとして
21.0	2.56	1.00

*効果発現促進材として銅、亜鉛を表記する場合、肥料取締法上、元素単体で表示することになっています。
マンガンは保証成分ですので酸化物(MnO)で表示しています。

荷姿:20kg紙袋

マンキチ粒状T-21号

効果発現促進材(銅・亜鉛)入り

この肥料は畑作・園芸作物のマンガン、銅、亜鉛欠乏に有効です。
とくに秋まき小麦の銅、マンガン欠乏対策として効果が期待できます。

特長

- ★この肥料は鉱さいマンガン肥料に効果発現促進材として銅、亜鉛を配合した微量元素肥料です。
- ★この肥料のマンガンはく溶性ですから、肥効が安定的に持続します。
- ★銅と亜鉛はガラス質の状態に含まれているため緩効的です。そのため、土壌中で徐々に溶けて生育期間中絶えず作物に供給されます。
- ★粒状のため、機械散布に適します。

使い方

★適用土壌(畑・野菜)……マンガン、銅、亜鉛が土壌診断基準値以下の土壌に施用してください。

基準	要素	易還元性マンガン(Mn)	可溶性銅(Cu)	可溶性亜鉛(Zn)
不足領域		50ppm以下	0.5ppm以下	2ppm以下
(土壌診断基準値)		(50~500ppm)	(0.5~8.0ppm)	(2~40ppm)

H.14年 北海道施肥ガイドより
*秋まき小麦におけるマンガンの施用指針として、交換性マンガンを下限値:4ppm(但し、pH5.5~6.5の土壌)上限値:10ppm程度
H.16年 指導参考事項

- ★基肥として全面全層に施用してください。
- ★標準施用量……10a 当り20kgの施用を標準としてください。
- ★濃度上昇量(試算値)……20kg/10a 全層施用による土壌中のマンガン、銅、亜鉛の濃度上昇の程度を試算しました。

施用量	要素	Mn濃度上昇量	Cu濃度上昇量	Zn濃度上昇量
20kg施用		31.0ppm	4.9ppm	1.9ppm

*土壌中のマンガン、銅、亜鉛の濃度上昇量は作土深15cm、土壌容積重を0.7で試算

銅の土壌中濃度は肥料20kgの施用で欠乏域から土壌診断基準値の適正領域(0.5~8.0ppm)に上昇します。マンガン、亜鉛も適正域に上昇します。

使用上の注意

- ★微量元素が含まれているので、土壌分析診断を定期的実施し、適正な施用に努めてください。
- ★詳しい使い方については、地区農業技術指導機関またはJAにご相談ください。

くみあい総合微量元素肥料
アグリエース[®]
 H-11号(粒状)

効果発現促進材として銅が入った総合微量元素肥料です



麦の銅欠乏(枯れあがり黒く、不稔が多い)

麦の銅欠乏(穂の出すくみ、葉がよじれる)

成分(%)

保証成分		効果発現促進材	含有成分			
マンガン	ホウ素	銅	ケイ酸	鉄	亜鉛	モリブデン
MnO	B ₂ O ₃	Cuとして	SiO ₂	Fe ₂ O ₃	ZnO	MoO ₃
19.0	9.0	1.99	29.0	4.0	0.50	0.15

※効果発現促進材として銅を表記する場合、肥料取締法上、元素単体で表示することになっているため[Cu]として1.99%で表示しています。その他の成分は酸化物で表示しています。

荷姿

20kg 紙袋



アグリエース[®] H-11号(粒状)

特長

- ★この肥料は従来のFTEに加え、効果発現促進材として銅を強化した総合微量元素肥料ものです。
- ★この肥料はガラス質の肥料でく溶性のタイプです。
- ★したがって、徐々に溶けて生育期間中たえず作物に吸収されます。
- ★より使い易く効果的に使用していただくために粒状にしました。

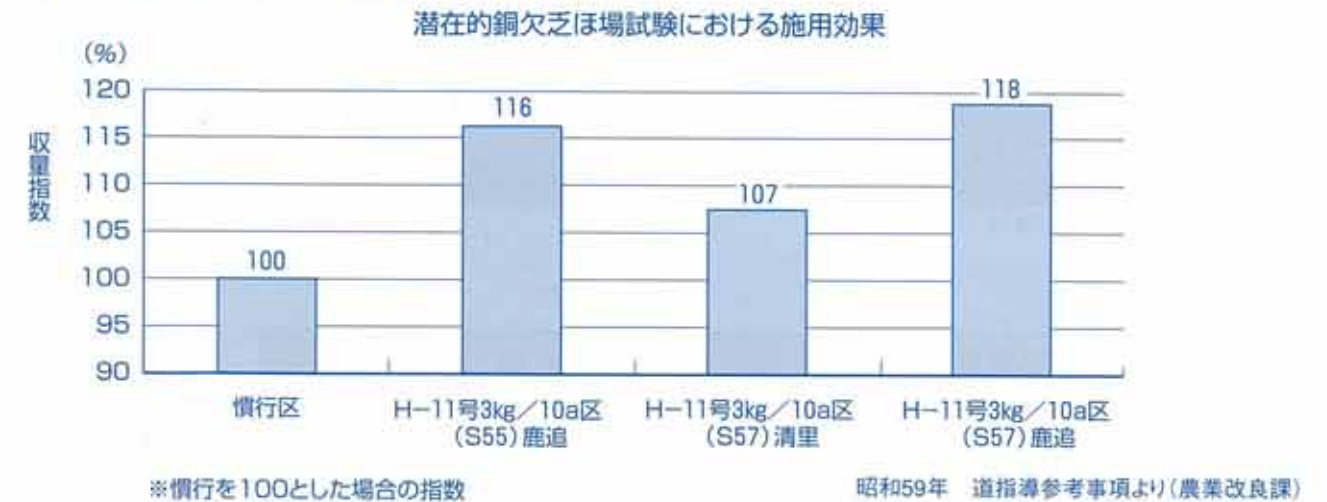
使い方と施用量

- ★基肥として他の肥料や土壌と混合のうえ、均一に施用してください。
- ★銅が不足しているほ場(土壌中可溶性銅[Cu]が0.5ppm以下)や銅欠乏症状の出るおそれのあるほ場でお使いください。
- ★1.5~3.0kg/10aの施用を基準としてください。(「Cu」として29.85~59.7g/10a)
- ★土壌分析診断を定期的実施して適正な施用に努めてください。

使用上の注意

- ★銅を添加してありますので適正量を守ってください。
- ★対象作物としては麦類が特に効果的です。
- ★詳しい使い方については地区農業改良普及センターまたは農協にご相談ください。

アグリエースH-11号の施用効果(秋まき小麦)



くみあい総合微量元素肥料

アグリエース®

H-22号(顆粒状)

効果発現促進材として亜鉛が入った総合微量元素肥料です



小豆の亜鉛欠乏(葉脈間の黄化とカップリング) スイートコーンの亜鉛欠乏(葉脈間の黄化)

成分(%)

保証成分		効果発現促進材	含有成分			
マンガン	ホウ素	亜鉛	ケイ酸	鉄	銅	モリブデン
MnO	B ₂ O ₃	Znとして	SiO ₂	Fe ₂ O ₃	CuO	MoO ₃
15.0	5.0	5.62	35.0	4.2	0.10	0.05

※効果発現促進材として、亜鉛を表記する場合、肥料取締法上、元素単体で表示することになっているため[Zn]として5.62%で表示しています。その他の成分は酸化物で表示しています。

荷姿

20kg 紙袋

アグリエース® H-22号(顆粒状)

特長

- ★この肥料は従来のFTEに加え、効果発現促進材として亜鉛を強化した総合微量元素肥料です。
- ★この肥料は、ガラス質の肥料でく溶性のタイプです。
- ★したがって、徐々に溶けて生育期間中たえず作物に吸収されます。
- ★より使い易く効果的に使用していただくために顆粒状にしました。

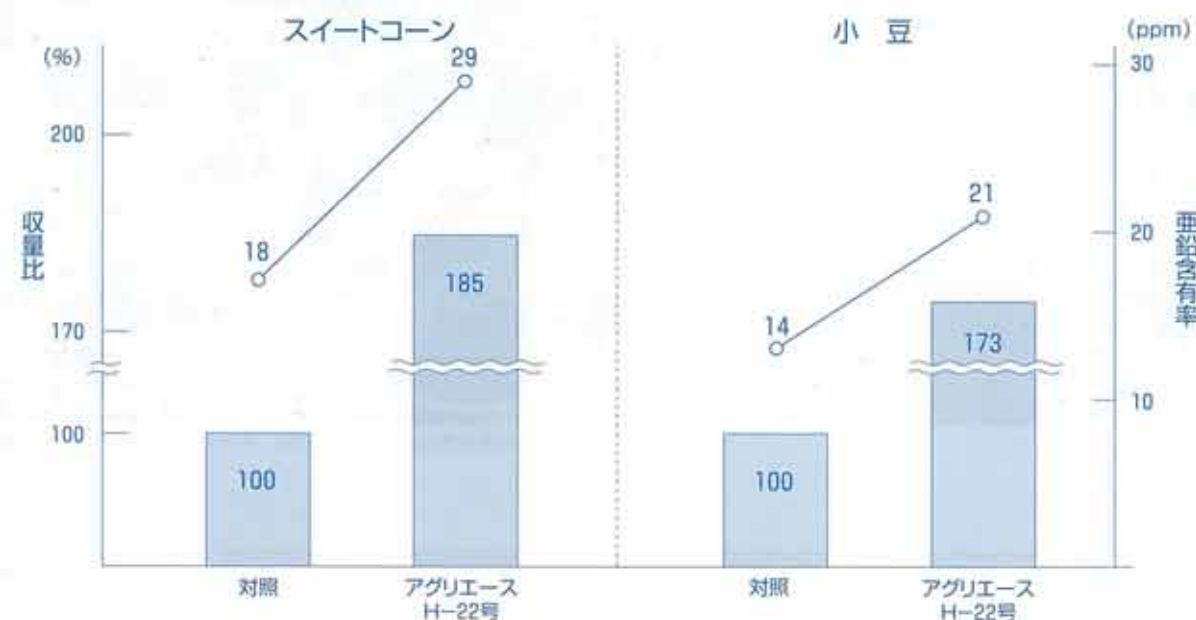
使い方と施用量

- ★基肥として他の肥料や土壌と混合のうえ、均一に施用してください。
- ★亜鉛が不足している場合(土壌中可溶性亜鉛[Zn]が2ppm以下)や亜鉛欠乏症状の出るおそれのある場合(土壌中可溶性亜鉛[Zn]が2~4ppm)でお使いください。
- ★4~6kg/10aの施用を基準としてください。(「Zn」として225~337g/10a)
- ★土壌分析診断を定期的実施して適正な施用に努めてください。

使用上の注意

- ★亜鉛を添加してありますので適正量を守ってください。
- ★対象作物としては小豆、とうもろこし、たまねぎ等が特に効果的です。
- ★詳しい使い方については地区農業改良普及センターまたは農協にご相談ください。

施用効果



※対象を100とした場合の指数

スイートコーン (平成4年指導参考事項:十勝農試)
小豆 (平成3年委託試験:十勝農試)